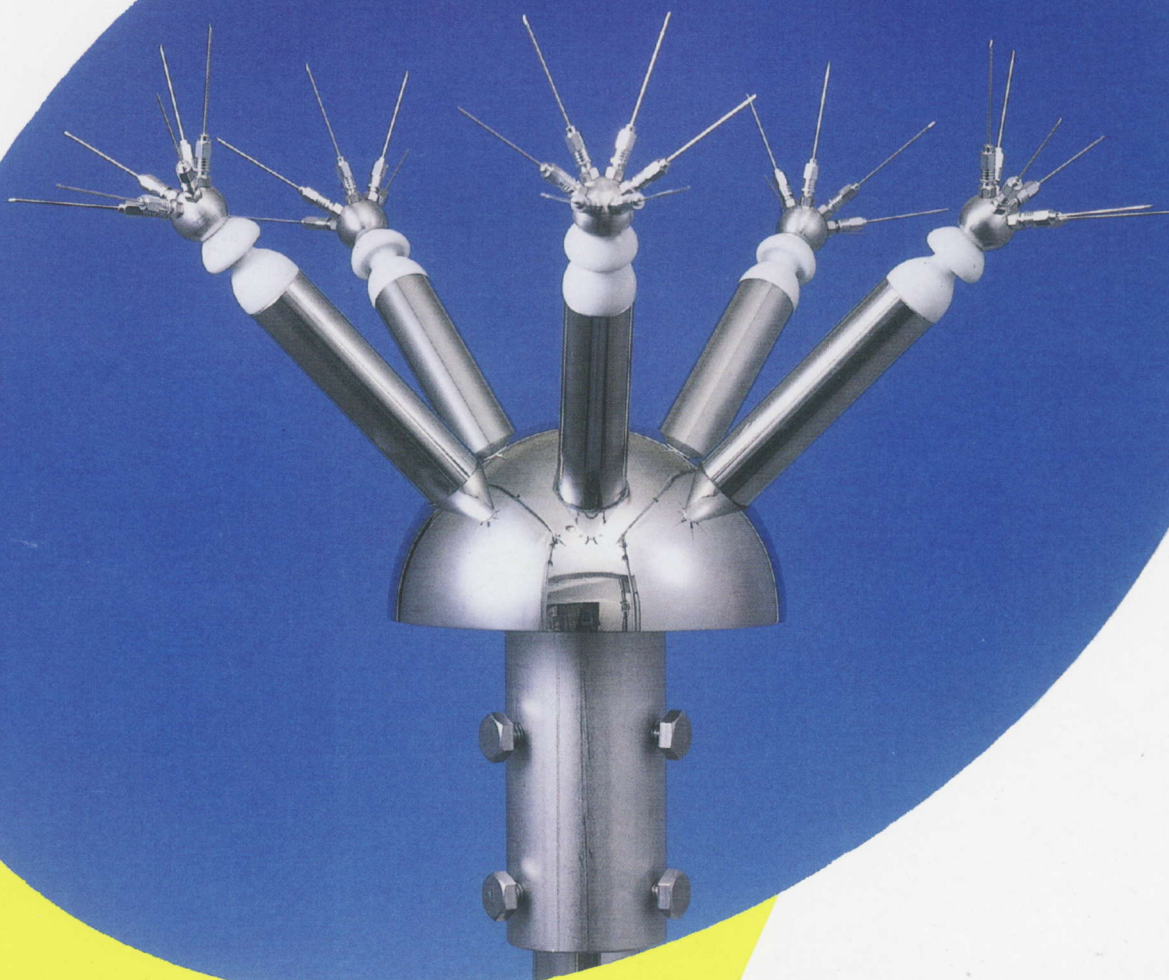


2種類のセンサーで3段階の警報を出す襲雷警報器

コロナーム®

日本特許 第1454395号
第1549430号
第1904751号
アメリカ特許 第5296842号
カナダ特許 第2015774号
フランス特許 第2676547号
イギリス特許 第2254701号
ドイツ特許 第4113335号
オーストラリア特許 第625891号
台湾特許 第51350号
韓国特許 第130198号

実用新案登録 第1739911号
商標登録 第3160377号



雷撃は各方面に多くの被害をもたらし、毎年尊い人命や貴重な財産が失われています。

ゴルフ場、キャンプ場、プール、遊園地、運動場、等の屋外運動施設では、安全対策として早めの避難誘導が必要不可欠です。特に山頂や高所等の作業現場では気象条件の監視も重要な安全対策の一つです。

また付近の落雷によって起こされる瞬間的な停電は、OA、FA機器の機能障害を招き、データ処理や生産活動に多大な損害を与えます。積極的な防衛策として、襲雷情報

を把握し、瞬間的な停電状態に備える体制を整えることが重要となります。

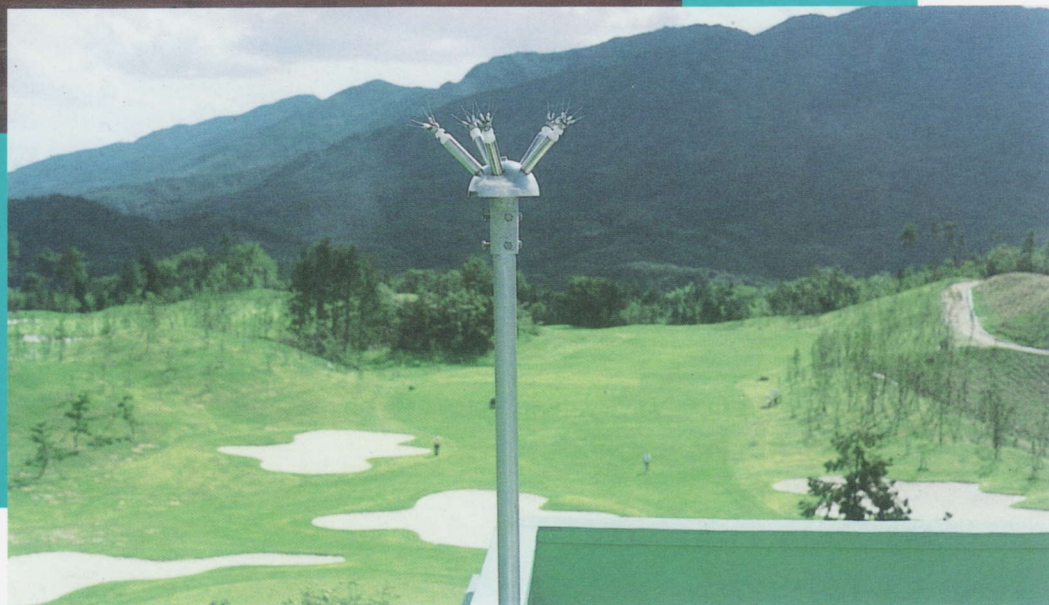
襲雷警報器「コロナーム」は発売以来1000件以上の実績がある雷警報器のベストセラーです。

“備えあれば憂いなし”のたてのように雷害防止のための投資は、安全というはかりしれない利益を生み出します。

多発する落雷事故を未然に防ぐ 画期的な機能。



感知器
寸法390φ×310H^{mm}



用 途

1 広い敷地内にいる人たちの避難誘導のために

ゴルフ場やキャンプ場、プール、大規模公園、郊外運動施設等では、安全対策として早めの避難誘導が不可欠です。襲雷警報器「コロナム」は段階的に表示することができるため、場内への注意放送から避難、避難解除の情報を的確に提供します。

2 OA・FA機器の電源対策として

付近の落雷によって引き起こされる瞬間的な停電は、OA・FA機器の機能障害を招き、データ処理や生産活動に多大の損害を与えます。そのため、積極的な防衛策として、自ら襲雷情報を把握し、瞬間的な停電状態に備える体制を場内通知することが必要になってきました。

3 ロープウェイ、浄水場等公共インフラ設備の停電対策

4 山頂・高所での作業者の安全対策として

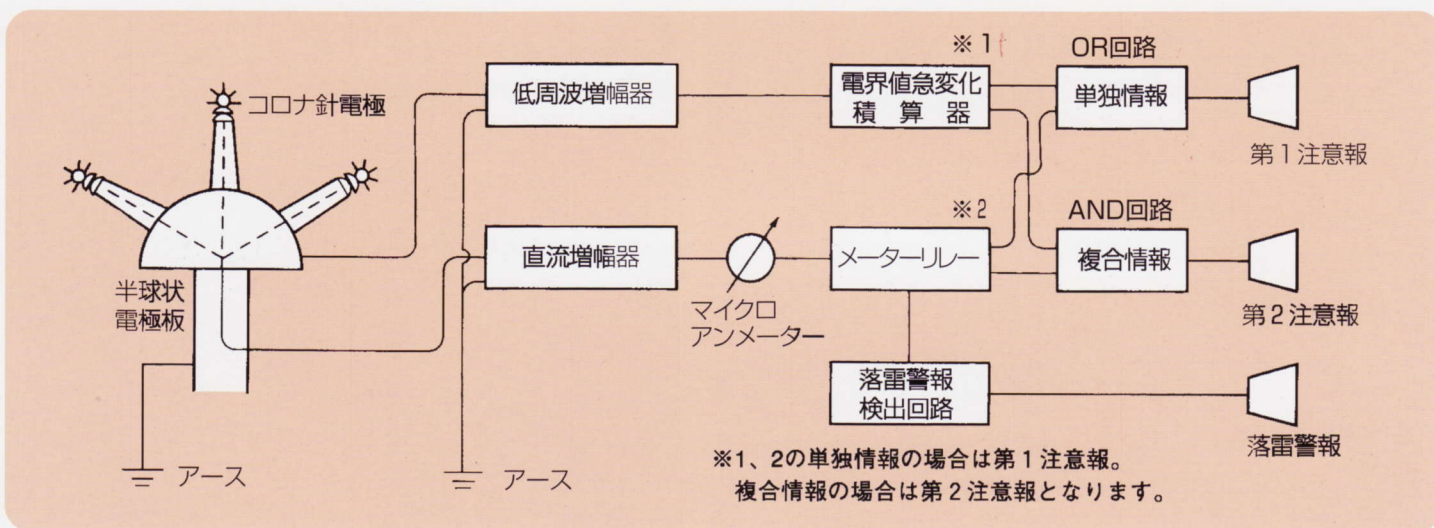
山頂や高所などの作業現場では、安全担当者にとって気象条件の監視も重要な安全対策の一つです。また鉱山のような、爆発物を取り扱う作業現場も同様です。

特 長

1. 2種類のセンサーによって雷の状況を確実に捕らえることができます。
2. 注意段階～落雷警報まで3段階表示をおこないますから、避難・解除がわかりやすくなっています。
3. センサーは小型軽量で、美観を損なうことなく任意の場所に取り付けることができます。
4. 雷のみでなく、大雨等の急激な気象変化の予知器としても使うことができます。

レジャー施設やOA・FA時代の防雷対策に威力を発揮。

■フロー図



■予知原理

センサー		機 能		雷雲の状態
半球状電極板	→	電界値急変(=放電数)の積算 (半球状電極板に帯電した電気量の一定時間内の変化の数を監視しています)	→	雷雲の発生と接近、または頭上の雷雲の成熟
コロナ針電極	→	電界強度の測定 (30本のコロナ針電極から出るコロナ電流を増幅して表示します)	→	雷雲の一層の接近及び発達
コロナ針電極	→	極性急反転を伴う大幅な電界変化	→	落雷危険状態



■受信表示盤の見方

段階		表示ランプ・ブザー	コロナ電流計(黒針)の変化	雷雲までの距離 ^③	時間	行動内容
1	発生段階	第1注意報(緑)の点灯 断絶音(ピッ・ピッ・ピッ)の開始	な し	25~50km	30~60分	受信表示盤の今後の動きに注意
2	注意段階	第1注意報の発生頻度が多くなる。	2~3 μ A程度の緑針方向へ傾き、止まっている。 (頭上発生の場合は赤針方向)	15km以内	30分以内	注意の呼掛け
3	避難段階	第1注意報がほぼ連続的に鳴る 第2注意報(黄)の点灯 連続音(ホロ・ホロ・ホロ)の開始	小さきみな動きが始まる 緑針超過 (赤針超過の場合はより危険)	10km以内	10~20分以内	避難命令発令
4	落雷危険段階	落雷警報(赤)の点灯 高い連続音(ビー)の開始	黒針の緑針、赤針にまたがる激しい動き	頭 上	—	強制避難発令
5	解除段階	第2注意報~第1注意報へと戻る動き	0点への復帰	通過中及び通過後	—	第1注意報の間隔が5分以内となり黒針が0点への復帰すれば避難解除

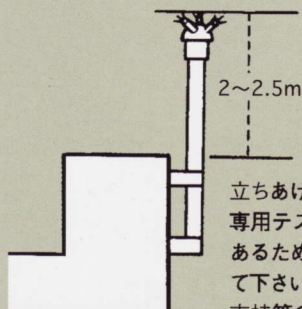
③: 感知器設置条件により異なります。

この優れたシステムは、豊かな実績から生まれました。

取付方法

●感知器の設置場所●

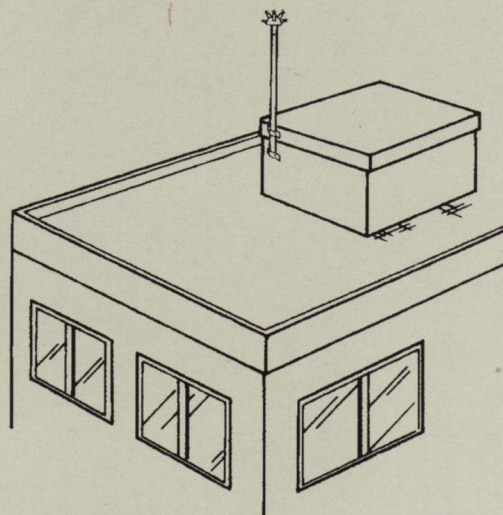
◎なるべく受信表示盤の付く建物の最高部に取り付けて下さい。



右の図のように建物屋上や塔屋、壁面等で周囲および上空の開けた場所を選んで下さい。感知器の支持管は40Aの溶融亜鉛メッキ鉄管を用いて、壁付もしくは自立で立ちあげて下さい。

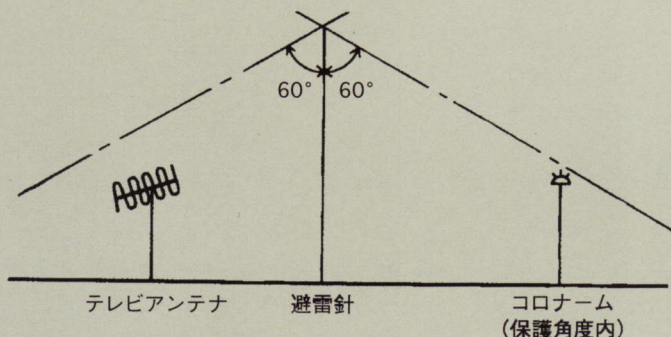
立ちあげる高さは図のように2m~2.5m程度とし、設置後は専用テスターにより感知器に直接触れて試験するため、脚立等で安全に試験できるような場所を選定して下さい。

支持管の支線は基本的には不要です。

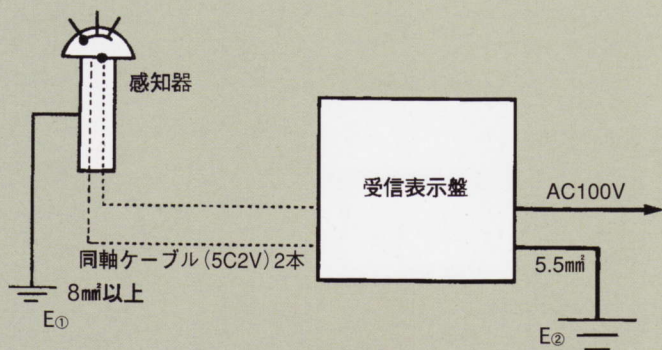


建物屋上や屋外に独立避雷針がある場合、避雷針からは5m程度離し、かつ避雷針の保護角度(通常60°)に入れるように設計して下さい。

左の図のようにテレビアンテナおよび風向風速計がある場合は、コロナームの反対側になるように設計し、コロナームのポールに他のものを抱かせないようにして下さい。



●配線●



注意事項

- E₁は、支持管を8mm以上の1V線で単独接地として下さい。接地抵抗値は、なるべく低く(30Ω以下)して下さい。
尚、取り付ける建物が鉄筋および鉄骨建物の場合は、鉄筋および鉄骨に接続してE₁として下さい。
- E₂は受信表示盤の函へ、なるべく低い値(30Ω以下)のものを5.5mm1V線で接続して下さい。
- 5C2Vの配線距離はなるべく短くなるように設計し、最長でも200mを超えないようにして下さい。
- AC100V回線には新設建物の場合、できるだけ専用ブレーカー(15A以下)を取り付けて下さい。
- 同軸ケーブル2本の接続は、感知器支持管下に接続ボックスを設け、内部でのコネクター接続となります。
- 感知器は電撃殺虫機などの高圧放電を伴う機器の近くには設置しないで下さい。

※このカタログの内容は性能改善のため予告なしに、一部変更することがありますのでご了承下さい。

製造・販売元

オールテック株式会社

名古屋市名東区猪高台二丁目406番地 〒465-0028

TEL (052) 772-5697 FAX (052) 775-1729

URL: <http://www.alltech.jp>

業務内容

- 襲雷警報器『コロナーム』製造・販売
- 防雷設備設置・保守・点検
- ゴルフ場設備機器販売・設置工事